

共催事業

※参加申込・お問い合わせは、NPO法人京都景観フォーラム事務局まで。

京都景観エリアマネジメント講座（基礎講座）

主催：NPO法人京都景観フォーラム

景観についての専門的なスキルをトータルに身に付けるための講座（全8回）を開催しています。景観やまちづくりに関わる方や、興味を持っておられる方は、是非ご参加ください。

- 第4回
10月20日(土)
土木と景観デザイン
「京都の景観構造と都市デザインの作法」 講師：山田 圭二郎氏(金沢工業大学准教授)
「土木のデザインー国の為、市民の為、それとも」 講師：篠原 修氏(東京大学名誉教授)
- 第5回
11月17日(土)
※13時開始
(通常と時間が変わっています
のでご注意ください)
京の生活文化
「数寄屋の作法」 講師：矢ヶ崎 善太郎氏(京都工芸繊維大学大学院准教授)
「茶の湯の心・不易流行とまちの変化」 講師：谷 晃氏(野村美術館館長)
「伝統文化から受け継ぐ美意識」 講師：笹岡 隆甫氏(華道「未生流笹岡」家元)
- 第6回
12月15日(土)
景観政策と法律
「京都の開発・環境・景観・まちづくり紛争の25年」 講師：飯田 昭氏(弁護士)
「景観を保全するための不動産継承対策とは」 講師：石田 光廣氏(司法書士)
「景観法」 講師：岡田 圭司氏(京都景観フォーラム)

時間 13:30~18:00 会場 京都市景観・まちづくりセンター 定員 40名
受講料 (全8回)一般35,000円、NPO会員30,000円(単回5,000円) ※学生割引あり 全8回20,000円(単回2,500円)
申込 NPO法人京都景観フォーラム事務局 FAX 075-491-9663 E-mail kkf@kyotokeikan.org

●京都市景観・まちづくりセンターの活動について

市民・企業・行政によるパートナーシップのまちづくりを推進し、京都らしい景観の保全・創造、質の高い住環境の形成などに取り組んでいます。住民の自主的な活動を支援し、まちづくり活動の拠点として、まちづくりに関する各種の相談に対して助言及び情報提供を行っています。

●まちづくり相談

地域の状況に応じたまちづくりの進め方について、活用できるまちづくりの制度や他の地域の取組事例などの様々な情報をご紹介しますほか、まちづくりの専門家の派遣や、活動費助成（一部）などの支援を行っています。

●京町家なんでも相談

京町家の維持・継承に伴う様々な悩みや不安の解消に向けて、様々な情報をご紹介しますほか、専門的な内容については、大工・建築士・不動産事業者などの専門家と連携した支援を行っています。

賛助会員募集

当財団の活動趣旨に賛同していただける方を賛助会員として募集しています。会費は、まちづくり活動の支援、京町家の保全、再生に向けた取組、当財団の運営等に活用させていただきます。

年会費 個人1口 5,000円/団体1口 50,000円 特典 ニュースレター

メルマガ会員も募集中。ホームページからご登録いただけます。

※賛助会費は、当財団への寄附金として税法上の優遇措置が適用され、確定申告により所得税・法人税の控除が受けられます。

問い合わせ先 (公財)京都市景観・まちづくりセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1

「ひと・まち交流館 京都」地下1階

Tel : 075-354-8701 Fax : 075-354-8704

E-mail : machi.info@hitomachi-kyoto.jp

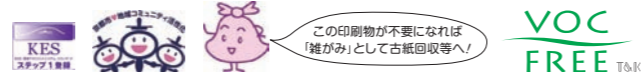
URL : <http://kyoto-machisen.jp>

交通機関

- バス 市バス 4、17、205系統「河原町正面」下車
- 電車 京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分
- 車 立体駐車場(最初の1時間410円、以後30分ごとに200円/45台程度)
※できる限り公共交通機関をご利用ください。



(公財)京都市景観・まちづくりセンターは環境負担軽減につとめています。



景観・まちづくり大学は、京都の景観・まちづくりについて多様な視点から学び、考え、実践へとつないでいくことのできる人材を育むことを目指しています。

京都らしい美しい景観や、住みよいまちを未来に引き継いでいくために、明日の京都のまちづくりを担う皆さんの活動を応援します。

元気なまちへの第一歩、あなたから始めませんか。

発行：公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

秋季 セミナースケジュール

京のまちづくり史連続講座(有料)

- 10月26日 祇園祭と景観・コミュニティの変転
- 11月30日 路地の暮らしの文化を引き継ぐ

京町家再生セミナー(有料)

- 11月 8日 安心して町家で暮らすために～町家の耐震・防災～
- 12月 4日 これでスッキリ!町家の片付けのための手順とコスト

平成30年度 京都景観ゼミナール(6回連続講座)(無料)

- 10月12日 景観まちづくりの第一歩
- 10月27日 景観まちづくりの現場探索!
- 11月 2日 実践者のお話を聞こう!
- 11月16日 私のまちの景観は?
- 11月28日 どうする?私のまちの景観
- 12月14日 広がる、広げる景観まちづくり

景観・まちづくり大学

平成30年度

秋季

〈問合せ先〉
京都市景観・まちづくりセンター

〈共催〉
京都市都市計画局まち再生・創造推進室

申込方法 下記の申込先に、いずれかの方法でお申し込みください。

申込先：京都市景観・まちづくりセンター

電話 075-354-8701 受付時間：月～土 9:00～21:30、日・祝 9:00～17:00
休館日：毎月第3火曜日(祝日にあたる場合は翌日)
FAX 075-354-8704 ※おかけ間違いにご注意ください。

Eメール machi.info@hitomachi-kyoto.jp

※申込の際、**セミナー名、氏名(ふりがな)、電話番号**をお知らせください。
※FAX、Eメールで申し込まれた場合、定員の充足状況等により参加不可の場合のみ当センターからご連絡いたします。
※**お申し込み後のキャンセルは、当センターまで、必ずご連絡をお願いいたします。**

申込受付期限後でも定員に達していないセミナーは受講を受け付けますので、当センターまでお問い合わせください。

CPD：景観・まちづくり大学(秋季)は建築士会CPD制度認定プログラムです。
建築士等、専門家の方々もぜひご参加ください。

京のまちづくり史連続講座 受講料(資料代等)：1講座1,000円(学生500円 ※学生証をご提示ください)

まちづくり活動に関わる方、関心がある方、学んでいる方を対象に、京都のまちづくりに取り組むうえでの基礎を学ぶ全9回の連続講座です。京都のまちの成り立ちや特徴、学区による自治、景観の変化やコミュニティなど、京都のまちの重層性と、現代にいたる先人のまちづくりに対する活動の歴史を体系的に学びます。京都の景観やまちの形成に人々がどのように関わってきたか、人々の活動から学び、見識を深めることで、これからの京都のまちづくりに役立てます。

年間テーマ	春季(4月～6月)	夏季(7月～9月)	秋季(10月～12月)	冬季(1月～3月)
	概論	自治・産業	文化・暮らし	京町家・コミュニティ



祇園祭と景観・コミュニティの変転 定員50名(申込先着順) 申込受付開始：9月14日(金) 申込受付期限：10月23日(火)

講師 谷直樹氏(大阪市立大学名誉教授)

日時 10月26日(金)19:00～21:00

会場 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

祇園祭の期間になると、呉服関係の店が並ぶ山鉾町は、華やかな祭りの空間に姿を変えます。通りに山や鉾が立ち並び、京町家のの間には秘蔵の屏風を立て、町会所に山鉾にのせるご神体や巡行に使う懸装品を飾ります。代表的な都市型祭礼として発展してきた祇園祭に見られる空間の演出から、都心市街や山鉾町のコミュニティ形成の歴史を振り返り、祭を運営する「お町内」の変転について学びます。

路地の暮らしの文化を引き継ぐ 定員50名(申込先着順) 申込受付開始：9月14日(金) 申込受付期限：11月27日(火)

講師 森重幸子氏(武庫川女子大学講師)

日時 11月30日(金)19:00～21:00

会場 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

京都の魅力の一つでもある路地は、古いものは平安時代後期の辻子に遡り、その後も長い都市形成の歴史の中で作られてきました。「ろおじ」と呼ばれる行き止まり状の路地も多く見られます。これら路地には、京町家が並ぶ景観や、車が入らない環境、濃密なコミュニティといった特徴がある一方で、法制度上複雑な状態におかれていることや、地震や火災の際の延焼の懸念や緊急車両が入らないといった問題もあります。路地の成り立ちと現状をたどりながら、防災の視点も踏まえ、現代のまちづくりにおける路地の可能性を展望します。

京町家再生セミナー

受講料(資料代等)：500円

京町家の所有者や居住者、具体的に京町家の居住や活用を検討している方向けのセミナーです。年間を通して、改修の手法、相続、資金調達、活用方法など、今すぐ役立つ!京町家の保全・再生に関する様々な専門知識をわかりやすく学びます。

安心して町家で暮らすために ～町家の耐震・防災～ 定員50名(申込先着順) 申込受付開始：9月14日(金) 申込受付期限：11月5日(月)

講師 光田彰氏(京都府建築工業協同組合)

日時 11月8日(木)18:30～20:30

会場 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

一般的には、町家は古い木造建築のため、地震や火事に弱いというイメージが持たれています。しかし、適切な改修方法を使用すれば、耐震性や防火性を高めることができます。そこで、今年度第5回目のセミナーでは、町家などの軸組木造の改修が専門の大工さんに、町家ならではの耐震性や防火性を高める改修方法を紹介していただきます。また、路地のような密集地で安心して暮らすための対策を伺い、地域で取り組む防災活動について学びます。

これでスッキリ! 町家の片付けのための手順とコスト 定員50名(申込先着順) 申込受付開始：9月14日(金) 申込受付期限：12月1日(土)

講師 谷口摩雄氏(ファイナンシャルプランナー・お片付けアドバイザー)

日時 12月4日(火)18:30～20:30

会場 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

町家を改修する前に、まず、家にあるモノを片づける必要があります。しかし、長年の暮らしの中で多くのモノが蓄積していたり、住まい手の高齢化、どの業者に頼めば良いのか分からないなど、町家の改修になかなか進めないのが実情です。そこで、今年度第6回目のセミナーでは、お住まいの家の片付け、実家の片付け、遺品整理、蔵の片付け、生前整理など町家のモノの整理と片付けの進め方について学びます。片付けにかかる時間とコストは?、古いモノの価値を見極めるには?、信頼できる片付け業者は?などのお悩みにスッキリと解決いたします。

平成30年度 京都景観ゼミナール(6回連続講座) 定員30名(申込先着順) 受講料：無料 申込受付期限：10月5日(金)

〈主催〉京都市都市計画局景観政策課

イベント	日時・会場	内容
景観まちづくりの第一歩	10月12日(金)19:00～21:00 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム	京都市の景観政策や景観賞を手掛かりに「景観まちづくり」をともに考えます。第2回講座のまちあるきのフィールドとなる「姉小路」地区の概要を学びます。
景観まちづくりの現場探索!	10月27日(土)10:00～15:00 姉小路界限	姉小路界限で「まちあるき」を体験。気になる建物や町並みを撮影します。その写真で景観マップを作成しながら意見交換を行います。
実践者のお話を聞こう! ゲスト 谷口親平氏(姉小路界限を考える会事務局長) 杉崎和久氏(法政大学教授)	11月2日(金)19:00～21:00 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム	姉小路界限で景観まちづくりを進めてこられたゲストから、活動の内容をお聞きます。
私のまちの景観は?	11月16日(金)19:00～21:00 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム	ネットで公開されている情報など、景観まちづくりに役立つツールの活用法を学びます。「私のまちの景観写真」をみんなで見ながら、景観の多様性を考えます。
どうする? 私のまちの景観 ゲスト 谷亮治氏(京都市まちづくりアドバイザー)	11月28日(水)19:00～21:00 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム	「私のまちの景観写真や提案」をみんなを持ち寄り、ゲストから景観まちづくりを進める際の心得をお聞きます。
広がる、広げる景観まちづくり	12月14日(金)19:00～21:00 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム	「私のまちの景観まちづくり」について各自が発表。景観まちづくりの支援制度やその活用方法を学びます。最後に修了式を行います。

※京都景観ゼミナールは単回の申込はできません。